

施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長 (幹事部局)	土木部長 富樫 篤英	電話番号 0852-22-6017
---------------------	------------	-------------------

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
目的	●道路防災対策、治山治水対策、土砂災害対策、海岸保全対策等により県土を整備し、集中豪雨、台風、地震等の発生時における県民の生命、身体及び財産への被害の発生を未然に防ぎます。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
洪水から保全される人口	目標値		296,700	301,500	306,400	311,500	人	土砂災害から保全される人口	目標値		153,800	155,200	156,800	158,300	人	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	212,100	216,675	304,700	307,350				実績値	152,400	155,133	157,155	159,071			
	達成率		73.00	101.10	100.40				達成率		100.90	101.30	101.50			
道路防災危険箇所整備率	目標値		32.00	33.00	34.00	35.00	%	道路防災危険箇所整備率のうち緊急輸送道路網道路防災危険箇所整備率	目標値		41.00	44.00	48.00	52.00	%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	31.00	32.00	34.00	35.00				実績値	37.00	41.00	44.00	48.00			
	達成率		100.00	103.00	103.00				達成率		100.00	100.00	100.00			
定性目標	平成24年度～平成27年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	○「土砂災害から保全される人口」はH27年度の事業進捗を勘案して目標値を再設定。 ○「緊急輸送道路網橋梁耐震化実施率」は各種調整に時間を要し計画を下回っているが、H27は目標を達成する見通し。															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>○県管理河川の整備率は、H26年度末で約30.7%（東部は15.2%）と遅れている。</p> <p>○大橋川改修は天神川水門がH26年度に完成し、今年度は新たに福富地区の築堤護岸整備、向島地区の樋門整備に着手する予定。</p> <p>○斐伊川放水路はH25.6月の運用開始以降4回の分流。H25.9の大雨では、尾原ゲートと放水路の運用で斐伊川本川や穴道湖の水位低下の効果があつた。</p> <p>○土砂災害危険箇所の整備状況 穴道湖湖心 約20cm 砂防課：要対策箇所（約5,900箇所）の整備率は18.4% 農地整備課：地すべり防止指定地区（298地区）の整備率は6.1% 森林整備課：地すべり危険地区（143地区）整備率は44.1% 山地災害危険地区（14,634箇所）整備率は35.3% ○海岸保全施設整備：港湾7地区の整備率は94.8%。 漁港8地区が完了・新規地区着手。 和木波子海岸の人工リーフ新設完了・既設の改良に着手予定。</p>
---	--

④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいるが見直す点もある C:あまり順調に進んでいない	B	<p>○河川改修を始め4指標は目標値を達成しており、残る1指標も達成率は98%超と高い。</p> <p>○大橋川改修は、H26年度に天神川水門を完成させるなど整備を進めている。</p> <p>○土砂災害防止対策は、砂防・農地・森林の関係課が連携し整備やソフト対策（出前講座等）を進めている。</p> <p>○道路防災は、目的達成のため緊急輸送道路網上の危険箇所整備や橋梁耐震化を計画的に進めている。</p> <p>○橋梁耐震化は、各種調整に時間を要し計画を下回っているが、H27は目標を達成する見通しである。</p>

⑤課題の認識

(1)平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	○限られた予算の中、優先度・緊急度等を考慮した事業実施や関係者の理解を得る説明などを続け、最終年度の参考指標を達成する必要があるため。
(2)施策の目的達成に向けての課題		<p>○各事業の実施には、次の理由などから安定的な予算確保が必要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共事業予算の減少：河川ピーク時（H10）の約15%、農地地すべり：削減前（H21）の約45%、森林：削減前（H16）の約70% など 未改修箇所が多数存在する上、1箇所の整備に多くの時間を要する・・・河川・海岸、砂防、森林、道路防災 既存施設の老朽化等により維持・更新費が増加の傾向・・・道路防災、農地地すべり、森林、漁港 <p>○河川事業では東東部の低平地の整備が遅れているが、整備には多大な予算と時間を要するため、重点的、効率的に実施する必要がある。</p> <p>○大橋川改修では、事業に理解が得られるよう地権者や地元住民への説明を続ける必要がある。</p> <p>○土砂災害防止施設は整備に時間がかかるため、ハード整備に併せ住民学習会などのソフト対策を進める必要がある。</p> <p>○橋梁耐震化は、各種調整に時間を要す場合があり、調整の開始時期を早める等の工夫が必要である。</p> <p>○海岸の侵食が激しい箇所では、離岸堤や人工リーフの整備に併せた効果的な対策を追加する必要がある。</p>

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<p>○事業量確保のため、次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機会を捉え国へ予算要望 コスト縮減 長寿命化によるライフサイクルコストの縮減 など <p>○道路防災対策は、補正予算等に対応出来るよう、耐震設計調査を先行して行う。</p> <p>○施設毎に長寿命化計画を策定し、老朽化対策を計画的に行う。</p> <p>○浸水が常襲する東東部の低平地の河川改修など対象を重点化したうえで、引き続き国事業に併せて効率的に事業を実施する。</p> <p>○大橋川改修は、事業の理解を得るため関係者への説明会や大橋川コミュニティセンターでの情報発信を引き続き行う。</p> <p>○土砂災害対策はハード整備に時間を要するため、ソフト対策を併せた総合的な防災対策を進める。 (ソフト対策例)雨量・水位など適切な情報提供、防災意識高揚のための啓発・学習会、警戒区域やハザードマップの周知、土砂災害警戒区域の指定による開発抑制、山崩れ発生予知施設(雨量計)等による警戒避難体制の整備、住宅補強に対する助成 など</p> <p>○橋梁耐震化は、計画開始時期を早め、各種調整を早い時点から開始する。</p> <p>○効果的な海岸保全対策とするため、離岸堤、人工リーフの工事に併せ養浜など侵食防止工事を行う。(益田港、久手港、三隅港、別府港、和木波子海岸)</p>
---------------------	---

施策評価シート別紙(評価実施年度:平成27年度)

施策の名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
-------	--------------------

②総合発展計画に定める成果参考指標の目標(実績)

項番	指標名等	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
1	洪水から保全される人口	目標値		296,700	301,500	306,400	311,500	人
		取組目標値						
		実績値	212,100	216,675	304,700	307,350		
		達成率		73.00	101.10	100.40		
2	土砂災害から保全される人口	目標値		153,800	155,200	156,800	158,300	人
		取組目標値					159,100	
		実績値	152,400	155,133	157,155	159,071		
		達成率		100.90	101.30	101.50		
3	道路防災危険箇所整備率	目標値		32.00	33.00	34.00	35.00	%
		取組目標値						
		実績値	31.00	32.00	34.00	35.00		
		達成率		100.00	103.00	103.00		
4	道路防災危険箇所整備率のうち緊急輸送道路網道路防災危険箇所整備率	目標値		41.00	44.00	48.00	52.00	%
		取組目標値						
		実績値	37.00	41.00	44.00	48.00		
		達成率		100.00	100.00	100.00		
5	緊急輸送道路網橋梁耐震対策実施率	目標値		53.00	56.00	58.00	60.00	%
		取組目標値						
		実績値	52.00	53.00	55.00	57.00		
		達成率		100.00	98.20	98.30		
6		目標値						%
		取組目標値						
		実績値						
		達成率						
定性目標1								
定性目標2								